

# 新東名で秦野の未来が変わる

平成32年度(2020年度)、新東名高速道路が秦野市内を開通する予定です。新東名が開通すると、現東名高速道路とのダブルネットワークが実現し、高速道路本来の機能である定時性や快適性がより確保できるとともに、災害時における高速道路同士の補完機能として大きな役割を果たすものと期待されています。

現在、NEXCO中日本(秦野工事事務所)において本格的に工事が実施されています。工事中はご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

イメージ図 ※未開通区間のIC、SA、橋、トンネル名は仮称です ※A・B・Cの記事は裏面をご覧ください

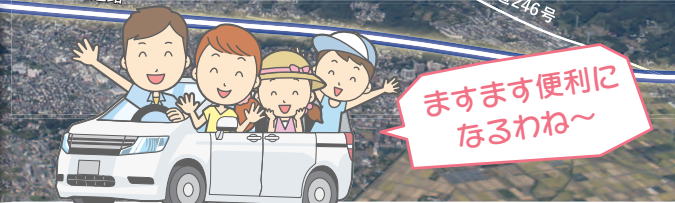
注) IC: インターチェンジ SA: サービスエリア } 工事区間



小原トンネルと工事用道路の造成



堀山下県道706号付近の橋の工事



工事用道路の造成と埋蔵文化財調査



橋脚を作るための基礎工事



羽根トンネル下り線(右側)を掘削中



高取山トンネルの掘削を開始

工事名	説明
① 秦野インターチェンジ工事	小原トンネルの掘削を行っています。隣接している萱沼トンネル工事に着手できるように、坑口へ行き着くまでの工事用道路を造成します。
② 秦野西工事	高速道路を跨ぐ橋の工事を行っています。今後は、四十八瀬川に仮橋を施工するなど本線内の工事用道路を造成します。
③ 秦野サービスエリア工事	高速道路を跨ぐ橋の工事及び本線内を通る工事用道路を造成しています。今後は、矢坪沢・唐沢川の箱型水路(ボックスカルバート)を施工します。
④ 葛葉川橋(下部工)工事	橋脚の基礎工事を行っています。今後は橋脚の基礎工事を引き続き行っていくとともに、本線内の工事用道路造成のため、与治ヶ谷戸沢に仮橋を施工していきます。
⑤ 羽根トンネル工事	市内約3kmを横断するトンネル(上下線2本)の工事です。2月に上り線が貫通し、現在下り線のトンネルを掘削しています。
⑥ 高取山トンネル西工事	9月に安全祈願祭を行い、トンネル掘削を開始しました。今後は、金目川橋の下部工施工に向け、迂回路を造成します。

## 番外編 ~こんなことも~

※たばこ祭や市民の日において、NEXCO中日本(秦野工事事務所)と協力し、高速道路やSAに期待することや市民の皆様からのアンケートを展示するなど、新東名高速道路のPR活動を行っています。



~市民の声~  
市民の方にご意見をいただきました。



多くの方が秦野に来てくれることを期待します

工事が終わり246が混まないように



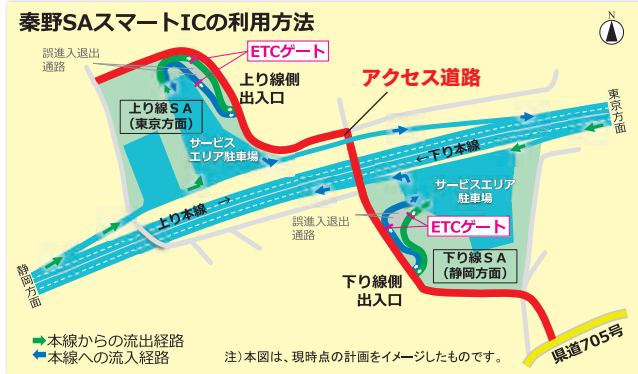
# 高規格道路への市の取り組み

注) IC：インターチェンジ  
SA：サービスエリア



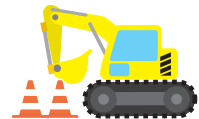
## 秦野SAにスマートICを開設

新東名高速道路の(仮称)秦野SAにスマートIC(ETC専用IC)が設置されます。これにより、広域的な交通利便性が飛躍的に向上し、産業基盤の強化、観光資源を活用した地域活性化や救急救命サービスの向上、災害時の支援体制の強化など、さまざまな効果が期待されています。



## スマートICアクセス道路の整備

スマートICと地域の幹線道路である県道705号を接続する道路を整備します。新東名高速道路開通に合わせた整備を目標に、現在用地取得を進めています。



## 厚木秦野道路(国道246号バイパス)への取り組み

**厚木秦野道路とは** 神奈川県中部を東西に走る延長約29.1kmの自動車専用道路(地域高規格道路)です。

新東名高速道路と一体となって、地域の交流・連携の強化、物資の流通促進などを担う新たな東西交通軸としての役割が期待されています。



国道246号の渋滞

**国道246号の渋滞緩和へ** 国道246号は、秦野盆地を東西に貫く主要な道路であり、地域経済の発展に大きな役割を果たしている幹線道路です。

しかし、交差点の多さや片側1車線でもあることから、慢性的な渋滞が発生しています。厚木秦野道路が完成すれば、国道246号から交通の一部が転換することにより、渋滞の緩和とそれを主要因とした諸問題の解決に貢献するものと期待されています。

現在の状況 (A・B・Cは表面イメージ図)

### A 秦野IC料金所～八沢入口交差点

新東名秦野IC料金所から国道246号八沢入口交差点までの道路については、新東名高速道路関連事業として国土交通省(横浜国道事務所)において工事を施工中です。現在、窪地になっている箇所への盛土工事と埋蔵文化財調査を行っています。



### B 秦野中井IC～秦野西IC区間

国道246号の渋滞が多発するこの区間については、まだ事業化されていません。秦野市では、伊勢原市・厚木市の三市で「国道246号バイパス建設促進協議会」を設立し、全線の早期事業化、整備促進を国などの関係機関に要望し、市民をはじめ地域や地権者のパイプ役となり、早期開通に向けた事業調整を毎年行っています。



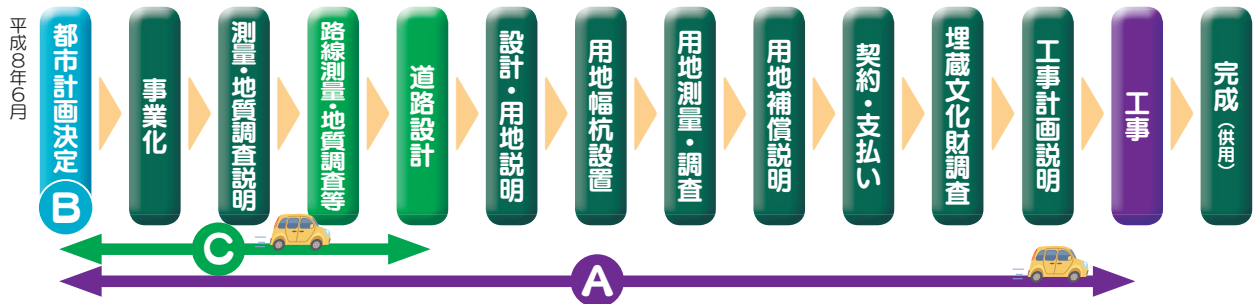
国土交通省への要望活動

### C 伊勢原西～秦野中井区間

平成26年度に伊勢原西IC～秦野中井IC間5.2km(うち秦野市区間3.7km)が国によって事業化されています。現在国土交通省(横浜国道事務所)において、ボーリング調査や道路設計が行われています。



厚木秦野道路の整備は、次のような手順で進みます



お問い合わせ 国県事業推進課(新東名・厚木秦野道路) ☎(82)5746 道路整備課(スマートIC・アクセス道路) ☎(82)9636

## 小田急線複々線化—都心へのアクセスが便利に! ~平成30年3月から~

◎特急ロマンスカー：秦野始発が2本増便! (平日朝6時8分・7時36分)

◎快速急行が25本増：新宿まで最大約10分短縮、朝の混雑緩和へ!

詳しくは、小田急鉄道のホームページなどをご覧ください



お問い合わせ 公共交通推進課 ☎(82)9644